



国立公園等における再生可能エネルギーの効率的導入促進事業

平成29年度予算(案)
700百万円 (700百万円)

事業目的・概要等

背景・目的

- 2030年までに、総発電電力量の22～24%を再生可能エネルギーとすることが政府目標とされ、導入を加速する必要がある。
- 一方、再生可能エネルギーの導入と自然環境保全の両立も必要で、国立公園等の規制緩和・許可基準の透明化、希少猛禽類のバードストライク対策が進展。
- さらなる導入促進のためには、事業が一定程度進捗したにもかかわらず、自然環境保全の観点から事業の推進が困難となる事例を減らすことにより、無駄のない導入を進めることが必要。
- そのため、国として保全すべき自然環境保全上重要な地域の自然環境情報を事業者へ提供して効率的な立地選定をすすめることが必要。

事業概要

- 国立公園等で再生可能エネルギー立地選定に必要な自然環境情報等を収集し、事業者へ提供することで、再生可能エネルギー導入の加速化を図る。

事業スキーム

委託対象：民間団体

実施期間：2年間（平成28年度～平成29年度）

期待される効果

- 事業立地選定、地元の合意形成の円滑化、投資判断の後押しによる事業数の増加に寄与。
- 自然環境に配慮した再生可能エネルギーの適切な導入を加速。
- 2020年までに、自然環境に配慮した優良な再生可能エネルギー導入事例が、70件形成されることを目指す。

イメージ

